

平成30年度 ふじみ野市水道事業 業務指標計算結果

PI計算値

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号
安全で良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	0.00	(mg/L)		残留塩素濃度合計/残留塩素測定回数	1106
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	10.0	(値, 項目名) (%)	ジェオスミン 2-メチルイソボルネオール	(最大カビ臭物質濃度/水質基準値) × 100	1105
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	26.0	(%)		Σ (給水栓の総トリハロメタン濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100	1107
			A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	31.7	(%)		Σ (給水栓の有機物 (TOC) 濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100	1108
			A105	重金属濃度水質基準比率	0.0	(値, 項目名) (%)	カドミウム及びその化合物 水銀及びその化合物 セレン及びその化合物 鉛及びその化合物 ヒ素及びその化合物 六価クロム及びその化合物	Σ (給水栓の当該重金属濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100	1110
			A106	無機物質濃度水質基準比率	25.7	(値, 項目名) (%)	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	Σ (給水栓の当該無機物質濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100	1111
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率	5.0	(値, 項目名) (%)	トリクロロエチレン	Σ (給水栓の当該有機化学物質濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100	1113
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	20.0	(値, 項目名) (%)	トリクロロ酢酸	Σ (給水栓の当該消毒副生成物濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100	1114
			A109	農業濃度水質管理目標比		-		max $\Sigma(Xij / GVj)$	1109
		施設管理	A201	原水水質監視度	90	(項目)		原水水質監視項目数	1101
			A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度	75.1	(箇所/100)		(給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数/現在給水面積) × 100	1102
			A203	配水池清掃実施率	0.0	(%)		(5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) × 100	5002
			A204	直結給水率	61.5	(%)		(直結給水件数/給水件数) × 100	1115
			A205	貯水槽水道指導率	0.0	(%)		(貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数) × 100	5115
			事故災害	A301	水源の水質事故件数	0	(件)		年間水源水質事故件数
	A302	粉末活性炭処理比率		-	(%)		(粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量) × 100	1116	
	施設更新	A401	鉛製給水管率	0.0	(%)		(鉛製給水管使用件数/給水件数) × 100	1117	
	運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率	32.5	(%)		(自己保有水源水量/全水源水量) × 100	1004
			B102	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額	-	(円/m ³)	有効数字2桁表示	水源保全に投資した費用/年間取水量	1005
			B103	地下水率	100.0	(%)		(地下水揚水量 / 年間取水量) × 100	4101
			B104	施設利用率	90.6	(%)		(一日平均配水量/施設能力) × 100	3019
			B105	最大稼働率	96.9	(%)		(一日最大配水量/施設能力) × 100	3020
			B106	負荷率	93.5	(%)		(一日平均配水量/一日最大配水量) × 100	3021
			B107	配水管延長密度	21.9	(km/km ²)		配水管延長/現在給水面積	2007
			B108	管路点検率	0.0	(%)		(点検した管路延長 / 管路延長) × 100	5111
			B109	バルブ点検率	0.0	(%)		(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100	新規
			B110	漏水率	4.0	(%)		(年間漏水量 / 年間配水量) × 100	5107
			B111	有効率	95.8	(%)		(年間有効水量 / 年間配水量) × 100	新規
			B112	有収率	94.2	(%)		(年間有収水量/年間配水量) × 100	3018
			B113	配水池貯留能力	0.82	(日)		配水池有効容量/一日平均配水量	2004
			B114	給水人口一人当たり配水量	308	(L/日・人)		(一日平均配水量/現在給水人口) × 1,000	2002
			B115	給水制限日数	0	(日)		年間給水制限日数	2005
			B116	給水普及率	100.0	(%)		(現在給水人口/給水区域内人口) × 100	2006
B117			設備点検実施率	100.0	(%)		(点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数) × 100	5110	
運営管理		B201	浄水場事故割合	0.50	(件/10年・箇所)		10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数	5101	
		B202	事故時断水人口率	54.2	(%)		(事故時断水人口/現在給水人口) × 100	2204	
		B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	129	(L/人)		(配水池有効容量 × 1/2 + 緊急貯水槽容量) × 1,000 / 現在給水人口	2001	
	B204	管路の事故割合	10.0	(件/100 km)		管路の事故件数 / (管路延長/100)	5103		

平成30年度 ふじみ野市水道事業 業務指標計算結果

PI計算値

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号	
安定した水の供給	事故災害対策		B205	基幹管路の事故割合	0.0	(件/100 km)		基幹管路の事故件数/(基幹管路延長/100)	2202	
			B206	鉄製管路の事故割合	0.6	(件/100 km)		鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)	5104	
			B207	非鉄製管路の事故割合	5.2	(件/100 km)		非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長/100)	5105	
			B208	給水管の事故割合	1.9	(件/1,000 件)		給水管の事故件数 / (給水管件数/ 1,000)	5106	
			B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	0.00	(時間)		$\Sigma(\text{断水・濁水時間} \times \text{断水・濁水区域給水人口}) / \text{現在給水人口}$	5109	
			B210	災害対策訓練実施回数	1	(回/年)		年間の災害対策訓練実施回数	新規	
			B211	消火栓設置密度	3.8	(基/km)		消火栓数 / 配水管延長	5114	
	環境対策		B301	配水量1m3 当たり電力消費量	0.31	(kWh/m ³)	有効数字2桁表示	電力使用量の合計 / 年間配水量	4001	
			B302	配水量1m3 当たり消費エネルギー	1.10	(MJ/m ³)		エネルギー消費量 / 年間配水量	4002	
			B303	配水量1m3 当たり二酸化炭素(CO ₂) 排出量	112	(g・CO ₂ /m ³)		[二酸化炭素 (CO ₂) 排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶	4006	
			B304	再生可能エネルギー利用率	0.000	(%)	有効数字2桁表示	$(\text{再生可能エネルギー設備の電力消費量} / \text{全設備の電力消費量}) \times 100$	4003	
			B305	浄水発生土の有効利用率		(%)		$(\text{有効利用土量} / \text{浄水発生土量}) \times 100$	4004	
			B306	建設副産物のリサイクル率	34.3	(%)		$(\text{リサイクルされた建設副産物量} / \text{建設副産物発生量}) \times 100$	4005	
	施設管理		B401	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率	52.5	(%)		$[(\text{ダクタイル鋳鉄管延長} + \text{鋼管延長}) / \text{管路延長}] \times 100$	5102	
			B402	管路の新設率	0.89	(%)		$(\text{新設管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	2107	
			B501	法定耐用年数超過浄水施設率	0.0	(%)		$(\text{法定耐用年数を超過している浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	2101	
			B502	法定耐用年数超過設備率	53.8	(%)		$(\text{法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数} / \text{機械・電気・計装設備などの合計数}) \times 100$	2102	
			B503	法定耐用年数超過管路率	23.4	(%)		$(\text{法定耐用年数を超過している管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	2103	
	施設整備		B504	管路の更新率	0.18	(%)		$(\text{更新された管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	2104	
			B505	管路の更生率	0.000	(%)		$(\text{更生された管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	2105	
			B601	系統間の原水融通率	0.0	(%)		$(\text{原水融通能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	2206	
			B602	浄水施設の耐震化率	0.0	(%)		$(\text{耐震対策の施された浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	2207	
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	0.0	(%)		$[(\text{沈殿・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力} + \text{ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力}) / \text{全浄水施設能力}] \times 100$	新規	
			B603	ポンプ所の耐震化率	0.0	(%)		$(\text{耐震対策の施されたポンプ所能力} / \text{耐震化対象ポンプ所能力}) \times 100$	2208	
			B604	配水池の耐震化率	15.7	(%)		$(\text{耐震対策の施された配水池有効容量} / \text{配水池等有効容量}) \times 100$	2209	
			B605	管路の耐震管率	11.7	(%)		$(\text{耐震管延長} / \text{管路延長}) \times 100$	2210	
			B606	基幹管路の耐震管率	60.6	(%)		$(\text{基幹管路のうち耐震管延長} / \text{基幹管路延長}) \times 100$	新規	
			B606-2	基幹管路の耐震適合率	60.6	(%)		$(\text{基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長} / \text{基幹管路延長}) \times 100$	新規	
	事故災害対策		B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	11.0	(%)		$(\text{重要給水施設配水管路のうち耐震管延長} / \text{重要給水施設配水管路延長}) \times 100$	新規	
			B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率	11.0	(%)		$(\text{重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長} / \text{重要給水施設配水管路延長}) \times 100$	新規	
			B608	停電時配水量確保率	0.0	(%)		$(\text{全施設停電時に確保できる配水能力} / \text{一日平均配水量}) \times 100$	2216	
			B609	薬品備蓄日数	24.5	(日)		$(\text{平均凝集剤貯蔵量} / \text{凝集剤一日平均使用量})$ 又は $(\text{平均塩素剤貯蔵量} / \text{塩素剤一日平均使用量})$ のうち、小さい方の値	2211	
			B610	燃料備蓄日数	0.5	(日)		平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量	2212	
			B611	応急給水施設密度	54.6	(箇所/100)		応急給水施設数/(現在給水面積/100)	2205	
			B612	給水車保有度	0.009	(台/1,000 人)	有効数字2桁表示	給水車数/(現在給水人口/1,000)	2213	
			B613	車載用の給水タンク保有度	0.178	(m ³ /1,000 人)	有効数字2桁表示	車載用給水タンクの容量/(給水人口/1,000)	2215	
				C101	営業収支比率	101.3	(%)		$[(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / (\text{営業費用} - \text{受託工事費})] \times 100$	3001
				C102	経常収支比率	106.9	(%)		$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$	3002
	C103	総収支比率		106.9	(%)		$(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$	3003		

平成30年度 ふじみ野市水道事業 業務指標計算結果

PI計算値

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値	単位	備考	計算式	旧番号	
健全な事業経営	財務	健全経営	C104	累積欠損金比率	0.0	(%)		$[\text{累積欠損金}/(\text{営業収益}-\text{受託工事収益})]\times 100$	3004	
			C105	繰入金比率(収益的収入分)	0.3	(%)		$(\text{損益勘定繰入金}/\text{収益的収入})\times 100$	3005	
			C106	繰入金比率(資本的収入分)	44.9	(%)		$(\text{資本勘定繰入金}/\text{資本的収入計})\times 100$	3006	
			C107	職員一人当たり給水収益	133,469	(千円/人)		$\text{給水収益}/\text{損益勘定所属職員数}$	3007	
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合	6.0	(%)		$(\text{職員給与費}/\text{給水収益})\times 100$	3008	
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合	3.5	(%)		$(\text{企業債利息}/\text{給水収益})\times 100$	3009	
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合	30.5	(%)		$(\text{減価償却費}/\text{給水収益})\times 100$	3010	
			C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	15.1	(%)		$(\text{建設改良のための企業債償還元金}/\text{給水収益})\times 100$	3011	
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合	148.7	(%)		$(\text{企業債残高}/\text{給水収益})\times 100$	3012	
			C113	料金回収率	94.7	(%)		$(\text{供給単価}/\text{給水原価})\times 100$	3013	
			C114	供給単価	111.8	(円/m ³)		$\text{給水収益}/\text{年間有収水量}$	3014	
			C115	給水原価	118.1	(円/m ³)		$[\text{経常費用}-\text{受託工事費}+\text{材料及び不要品売却原価}+\text{附帯事業費}+\text{長期前受金戻入}]/\text{年間有収水量}$	3015	
			C116	1か月10m ³ 当たり家庭用料金	977	(円)		$1\text{か月}10\text{m}^3\text{当たり家庭用料金}$	3016	
			C117	1か月20m ³ 当たり家庭用料金	1,897	(円)		$1\text{か月}20\text{m}^3\text{当たり家庭用料金}$	3017	
			C118	流動比率	246.2	(%)		$(\text{流動資産}/\text{流動負債})\times 100$	3022	
			C119	自己資本構成比率	79.8	(%)		$[(\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益})/\text{負債}+\text{資本合計}]\times 100$	3023	
			C120	固定比率	111.5	(%)		$[\text{固定資産}/(\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額}+\text{繰延収益})]\times 100$	3024	
			C121	企業債償還元金対減価償却費比率	73.2	(%)		$[\text{建設改良のための企業債償還元金}/(\text{当年度減価償却費}-\text{長期前受金戻入})]\times 100$	3025	
			C122	固定資産回転率	0.15	(回)		$(\text{営業収益}-\text{受託工事収益})/[(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})/2]$	3026	
			C123	固定資産使用効率	12.2	(m ³ /万円)		$\text{年間配水量}/\text{有形固定資産}$	3027	
	C124	職員一人当たり有収水量	1,194,000	(m ³ /人)	百の位を四捨五入	$\text{年間総有収水量}/\text{損益勘定所属職員数}$	3109			
	C125	料金請求誤り割合	0.00	(件/1,000件)		$\text{誤料金請求件数}/\text{料金請求件数}/1,000$	5005			
	C126	料金収納率	83.9	(%)		$(\text{料金納入額}/\text{調停額})\times 100$	5006			
	C127	給水停止割合	3.5	(件/1,000件)		$\text{給水停止件数}/\text{給水件数}/1,000$	5007			
	組織・人材	人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度	3.25	(件/人)		$\text{職員が取得している水道技術に関する資格数}/\text{全職員数}$	3101	
			C202	外部研修時間	37.9	(時間/人)		$(\text{職員が外部研修を受けた時間}\times\text{受講人数})/\text{全職員数}$	3103	
			C203	内部研修時間	115.0	(時間/人)		$(\text{職員が内部研修を受けた時間}\times\text{受講人数})/\text{全職員数}$	3104	
			C204	技術職員率	50.0	(%)		$(\text{技術職員数}/\text{全職員数})\times 100$	3105	
			C205	水道業務平均経験年数	26.5	(年/人)		$\text{職員の水道業務経験年数}/\text{全職員数}$	3106	
			C206	国際協力派遣者数	0	(人・日)		$\Sigma(\text{国際協力派遣者数}\times\text{滞在日数})$	6001	
			C207	国際協力受入者数	0	(人・日)		$\Sigma(\text{国際協力受入者数}\times\text{滞在日数})$	6101	
		業務委託	C301	検針委託率	99.8	(%)		$(\text{委託した水道メーター数}/\text{水道メーター設置数})\times 100$	5008	
			C302	浄水場第三者委託率	0.0	(%)		$(\text{第三者委託した浄水場の浄水施設能力}/\text{全浄水施設能力})\times 100$	5009	
		お客さまとのコミュニケーション	情報提供	C401	広報誌による情報の提供度	1.0	(部/件)		$\text{広報誌などの配布部数}/\text{給水件数}$	3201
				C402	インターネットによる情報の提供度	19	(回)		ウェブページへの掲載回数	新規
				C403	水道施設見学者割合	0.2	(人/1,000人)	有効数字2桁表示	$\text{見学者数}/\text{現在給水人口}/1,000$	3204
			意見収集	C501	モニタ割合	未調査	(人/1,000人)	有効数字2桁表示	$\text{モニタ人数}/\text{現在給水人口}/1,000$	3202
				C502	アンケート情報収集割合	未調査	(人/1,000人)		$\text{アンケート回答人数}/\text{現在給水人口}/1,000$	3203
				C503	直接飲用率	未調査	(%)		$(\text{直接飲用回答数}/\text{アンケート回答数})\times 100$	3112
				C504	水道サービスに対する苦情対応割合	0.00	(件/1,000件)		$\text{水道サービス苦情対応件数}/\text{給水件数}/1,000$	3205
				C505	水質に対する苦情対応割合	0.17	(件/1,000件)		$\text{水質苦情対応件数}/\text{給水件数}/1,000$	3206
	C506			水道料金に対する苦情対応割合	0.00	(件/1,000件)		$\text{水道料金苦情対応件数}/\text{給水件数}/1,000$	3207	